

令和7年度 評価から評定への総括方法

江戸川区立江戸川小学校

観点別学習状況の評価とは、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして、学習の実現状況を観点ごとに評価して、児童の学習状況を分析的にとらえるものです。

評定は、学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、各学期の観点別学習状況の評価の結果を学年末に総括するものとしています。

【学年末の観点別学習状況の評価の総括】

(1) 観点別学習状況の評価の表示

- ・観点別学習状況については、現行の指導要録と同様次のように3段階で評価する。

- A：十分に満足できると判断されるもの
- B：おおむね満足できると判断されるもの
- C：努力を要すると判断されるもの

(2) 観点別学習状況の評価の総括

- ・各学期の評価結果が同じ場合は、学年末の総括も同じ評価にする。

	1 学期	2 学期	3 学期		学年評価
知識・技能	A	A	A	→	A
思考・判断・表現	B	B	B	→	B
主体的に学習に取り組む態度	C	C	C	→	C

- ・それぞれの観点で評価が同じでない場合は、出現率の高いものを重視しつつ、学年の目標や学年お評価の観点の趣旨と照らし合わせて総合的に評価する。単元に置いて観点到重みを付ける場合もあるため、単純化して総括することがないよう十分に考慮する。

【評定について】

(1) 学年末における評定の表示

- ・評定については、下記の3段階で評価をする。
- 3：十分に満足できると判断されるもの
 - 2：おおむね満足できると判断されるもの
 - 1：努力を要すると判断されるもの

(2) 学期末における観点別学習状況の評価と評定の総括

- ・総括した3つの観点の評価により、下記のような評定をすることを基本とする。

A	A	A	A	A	A	B	B	B	C
A	A	A	B	B	C	B	B	C	C
A	B	C	B	C	C	B	C	C	C
A		B※						C	
3		2※						1	

※ただし、上記の評定を基本とした上でそれぞれの観点で評価が同じでない場合は、出現率の高いものを重視しつつ、学年の目標や学年の評価の観点到趣旨とを照らし合わせて総合的な評定を行う。